

ドライブレコーダー

STX-001 / STX-001B

取付手順書

弊社ドライブレコーダーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に、この取付手順書を良くお読みいただき、適切な取り付けを行って
ください。

目次

安全上のご注意（必ずお守りください）	3
本機の取り付け場所について	3
電源について	4
SD カードの取扱いについて	4
同梱品を確認する	5
同梱品一覧	5
別売オプション一覧	5
カメラや本体の取り付け場所を決める	6
本体との接続イメージ	6
各カメラ、GPS アンテナの取り付け例	7
フロントカメラ・室内カメラ	8
GPS アンテナ	8
本体その他の取り付け	9
本体	9
マイク&スピーカー	10
別売オプションの設置	10
バックカメラ	10
動作テスト	11
専用ビューアソフトのインストール	11
専用ビューアソフトのアップデート	12
準備	13
本体の動作確認	13
G センサーのキャリブレーション	14
動的キャリブレーション手順	15
静止キャリブレーション手順	18
動作テスト	19
動作テストデータの確認	20

安全上のご注意（必ずお守りください）

使用する方や他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を、区別して説明しています。お守りいただく内容の種類を、絵記号で区別して説明しています。



警告：

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意：

人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



注意（しなければならない）の内容です。



禁止（してはいけない）の内容です。



実行（必ず行っていただく）の内容です。

本機の取り付け場所について



警告



- エアバッグの近くへの取り付けや、配線をしないでください。万一のとき動作したエアバッグで部品が飛ばされ、事故や怪我の原因となります。またコード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。



- 本体および各カメラは、運転や視界の妨げとならない場所、また自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付けてください。不適切な取り付けは、交通事故の原因となります。



注意



- 本機は日本国内仕様です。海外では使用しないでください。



- 取り付けは確実に行ってください。本体やカメラの脱落・落下等による怪我や事故、物的損害を被る恐れがあります。
- 突起部分などで怪我をする恐れがありますので、取り付けや取り外しの際は十分にご注意ください。

電源について

警告



- 指定された電源電圧仕様車両以外では使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。
- コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。故障や感電の原因となります。
- 指定以外のヒューズは使用しないでください。指定以外のヒューズを使用すると、異常加熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。



- 電源コードは確実に接続してください。接触不良を起こして火災の原因となります。

SD カードの取扱いについて

警告



- SD カードの抜き差しは、本体 LED が全て消灯していることを確認してから行ってください。記録データ破損の原因となります。
- SD カードは挿入方向が決まっています。方向をよく確認の上、本体に挿入してください。無理に押し込むと故障の原因となります。
- SD カードおよびその他の同梱品は、子供の手の届かない所に保管してください。誤って飲み込んでしまう恐れがあります。

同梱品を確認する

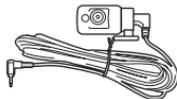
取り付けの前に、同梱品を確認してください。

同梱品一覧

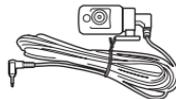
本体×1



フロントカメラ×1



室内カメラ×1



マイク&スピーカー×1



GPS アンテナ×1



電源ケーブル
(本体接続用)×1



8ピンコネクタケーブル
(車速/ウィンカー/ブレーキ/
リバース信号抽出)×1



6ピンコネクタケーブル
(拡張用)×1



取扱説明書(製品保証書)×1
取付手順書×1

DriveLog Viewer 取扱説明書×1



SD カード (16GB) × 2 (STX-001)
SD カード (128GB) × 1 (STX-001B)
専用工具×1



※ SD カード格納内容

- ・ 専用ビューアソフトインストーラフォルダ
- ・ PDF 版取扱説明書
- ・ PDF 版取付手順書
- ・ PDF 版 DriveLog Viewer 取扱説明書

別売オプション一覧

- ・ 4ch マルチカメラユニット
- ・ モニター用コンポジット変換ケーブル
- ・ SD カード (16GB、32GB、64GB、128GB)
- ・ バックカメラ
- ・ カメラ用 3m 延長ケーブル
- ・ 安全運転診断ソフト

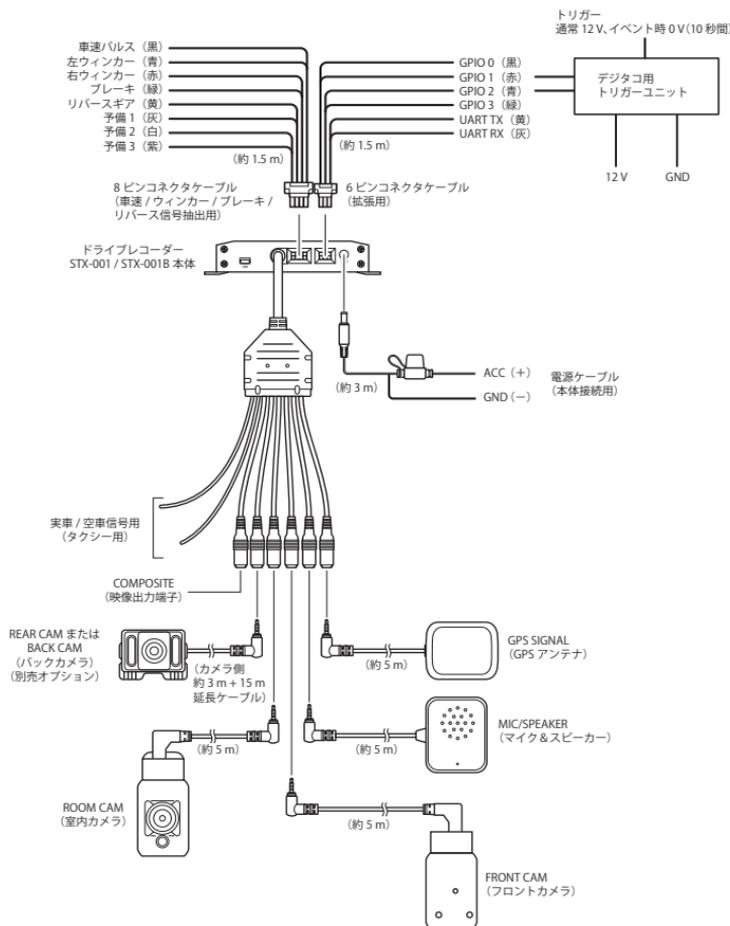
カメラや本体の取り付け場所を決める



取り付け作業は、必ず車両のイグニッションスイッチが OFF の状態で行ってください。

作業中のショート事故防止のため、接続前に必ずバッテリーのマイナス端子を外してください。

本体との接続イメージ



各カメラ、GPS アンテナの取り付け例

ここでは、フロントカメラ、室内カメラ、GPS アンテナの取り付け例を説明します。

警告

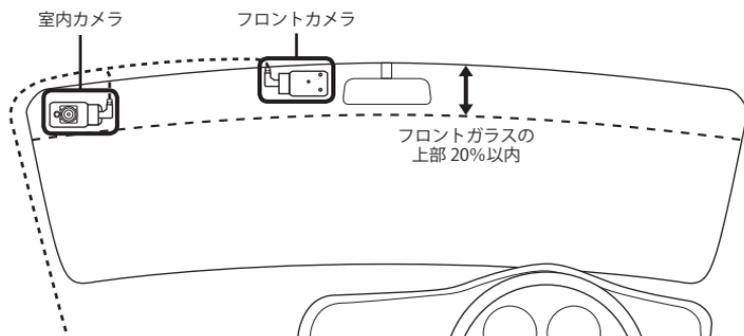


- 視界の妨げとならない位置に取り付けてください。
- ルームミラーの操作に干渉しない位置に取り付けてください。
- エアバッグの動作や運転の妨げとならないように取り付けてください。

注意



- フロントガラスの上部 20% の範囲内に取り付けてください。
- ※車検証ステッカーなどに重ならないように取り付けてください。



※COMPOSITE 出力端子にモニターが接続されている場合（別売ケーブル必要）、本体起動時にフロントカメラの映像を出力します。

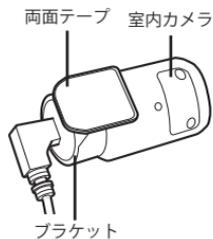
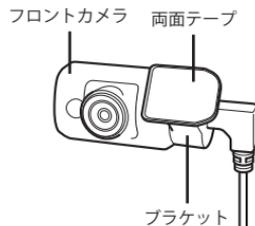
本体が正常動作中に eMMC ボタンを短押しすることで、COMPOSITE 出力がフロントカメラ映像→室内カメラ映像→バックカメラ映像の順番で切り替わります。
各カメラの映像をモニターで確認しながら、取り付けを行うことができます。

フロントカメラ・室内カメラ

1. 両面テープの台紙を剥がし、フロントガラスに取り付ける

※あらかじめ、フロントガラスの汚れや脂分をよく落としてください。

※位置決めは慎重に行ってください。貼り直しはテープの粘着力を弱め、カメラが脱落する恐れがあります。

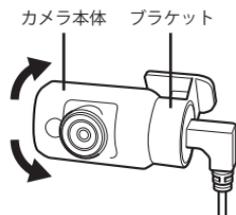


2. カメラの角度を調整する

ブラケットをしっかりと押さえ、カメラ本体を持って撮影したい角度に調整してください。



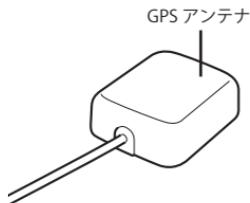
ケーブル部分を持って動かさないでください。
破損する恐れがあります。



GPS アンテナ

1. GPS アンテナを取り付ける

衛星からの電波を受信できる位置に取り付けてください。



本体その他の取り付け

本体

警告



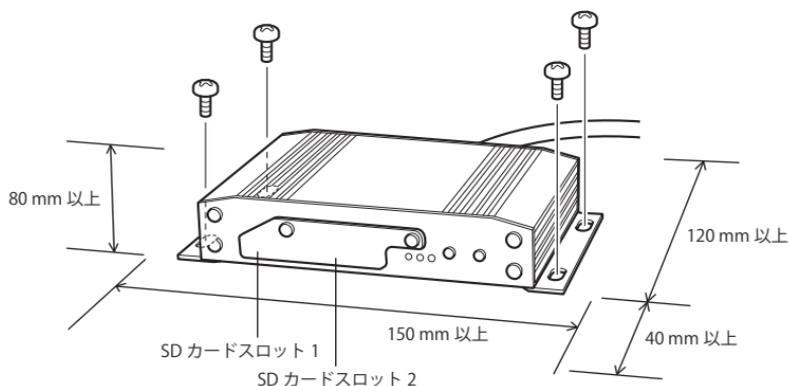
- 本体が脱落しないよう、確実に固定してください。
- 視界の妨げとならない位置に取り付けてください。
- エアバッグの動作や運転の妨げとならないように取り付けてください。

※横幅 150 mm ×高さ 80 mm ×奥行 120 mm 以上の平らな面を確保してください。

※SD カードの抜き差しやボタン操作が出来るよう、本体前面に 40 mm 以上の空間を確保してください。

※本機の近くに GPS 機能を持つ製品や VICS 受信機を設置しないでください。誤作動を起こす可能性があります。

※M5 ナベ小ネジ 4 本（別売）で固定してください。



⚠ 警告

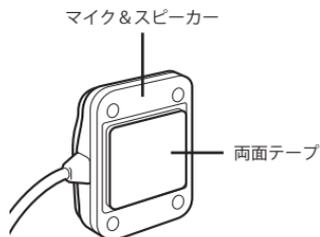


- ・ 脱落しないよう、両面テープで確実に固定してください。
- ・ 視界の妨げとならない位置に取り付けてください。
- ・ エアバッグの動作や運転の妨げとならないように取り付けてください。

1. 両面テープの台紙を剥がし、適切な位置に貼り付ける

※あらかじめ、貼り付け面の汚れや脂分をよく落としてください。

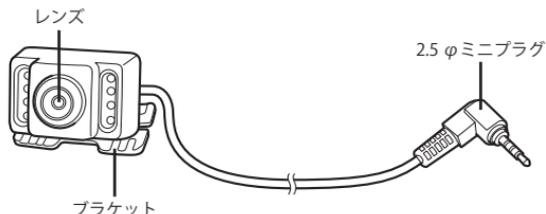
※マイクの集音やスピーカーの音声聞き取りに影響が無いよう、マイク&スピーカーの前面をふさがないように取り付けてください。



別売オプションの設置

本機はバックカメラを装着できます。(別売オプション)

バックカメラ



⚠ 警告



- ・ 風雨や衝撃で脱落しないよう確実に固定してください。
- ・ 車幅や車体全長に影響しない位置に取り付けてください。
- ・ 荷台の扉などに干渉しない位置に取り付けてください。

動作テスト

全ての接続と取り付けが終了したら、以下の手順で動作テストを行います。

- 専用ビューアソフトのインストール
- 本体の動作確認
- Gセンサーのキャリブレーション
- 動作テスト
- 動作テストデータの確認

必要環境

OS：Windows 7、8.1、10

CPU：2.33 GHz 以上推奨、x86 互換

メモリー：1 GB 以上

HDD 空き容量：SD カードの容量以上



同梱 SD カードを本体に挿入する前に、必ず同梱 SD カードに格納されている専用ビューアソフトをお手持ちのパソコンにインストールしてください。また、同梱 SD カードに格納されている取扱説明書等のデータも、パソコンにバックアップしてください。それらが終了したらデータを SD カードから削除し、その後 SD カードを本体に挿入してください。

専用ビューアソフトのインストール

1. 同梱の SD カードをパソコンの SD カードスロットに挿入する。パソコン本体に SD カードスロットが無い場合は、SD カードリーダーライターをパソコンに接続し、同梱の SD カードを SD カードリーダーライターに挿入する
2. SD カードに格納されている以下のデータをパソコンにバックアップする
 - 専用ビューアソフトインストーラフォルダ
 - PDF 版取扱説明書
 - PDF 版取付手順書
 - PDF 版 DriveLog Viewer 取扱説明書
3. 2. でコピーしたインストーラフォルダ内の [Setup.exe] をダブルクリックし、インストールを開始する
4. インストールの環境設定を行う
5. インストール完了

手順4で“インストール後にアプリケーションを起動”にチェックを付けていた場合、自動で DriveLog Viewer が起動します。
6. SD カード内のデータを削除（フォーマット）し、SD カードを取り出す

※同梱のもう一枚の SD カードにも同じデータが入っています。同様にデータを削除（フォーマット）してください。

専用ビューソフトのアップデート

DriveLog Viewer は不定期に自動でアップデートのチェックを行います。

※アップデートのチェックを行うためには、インターネット接続環境が必要です。

1. DriveLog Viewer および Adobe AIR の自動アップデートチェック

DriveLog Viewer を起動すると、自動でアップデートのチェックが行われます。

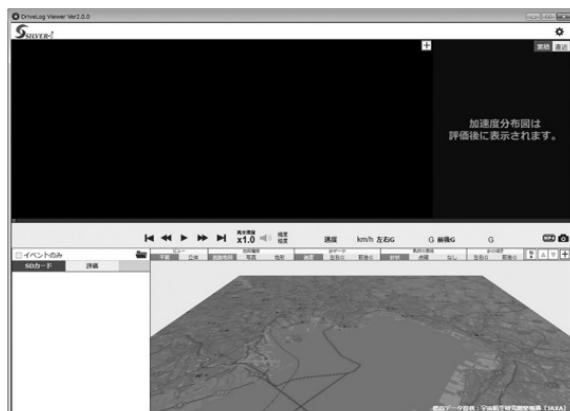
アップデートがあった場合、インストール確認画面が表示されます。

〔置換〕または〔今すぐアップデート〕をクリックすると、アップデートが開始されます。



2. アップデート完了

アップデート完了後、自動で DriveLog Viewer が起動します。



準備

- 車両の周囲に障害物や遮蔽物のない、見通しの良い場所に駐車してください。
- 本体のLED が全て消灯していることを確認してください。

STX-001 :

- 同梱の 2 枚の SD カードを、それぞれ SD カードスロット 1 とスロット 2 に挿入し、エンジンを始動してください。

STX-001B :

- 同梱の SD カード (128GB) をスロット 1 に挿入し、エンジンを始動してください。

本体の動作確認

1. LED の状態を確認する

起動すると、GPS 測位開始・接続確認が行われ、LED が下記の状態になります。

LED1 (電源 /GPS/SD スロット 1) : 点滅 (橙)

LED2 (フロントカメラ /SD スロット 2) : 点滅 (橙)

LED3 (Mute/eMMC) : 点灯 (緑)

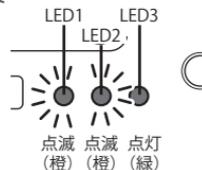
正常動作を開始すると、LED は下記の状態になります。

LED1 : 点灯 (橙)

LED2 : 点灯 (緑)

LED3 : 点灯 (緑)

起動直後



正常動作開始後



※初めて使用されるときは、GPS 測位完了までに 10 分程度かかる場合があります。

※LED が正常動作を示さないときは、取扱説明書 15 ページの『LED インジケータの見方』を参照し、症状と対応方法を確認してください。

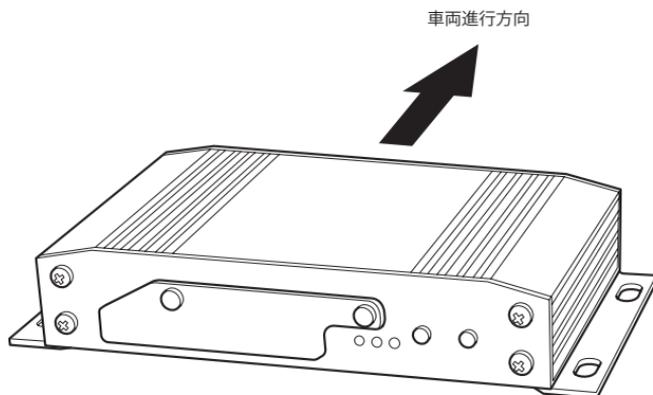
G センサーのキャリブレーション

本機は衝撃検知用に3軸（X軸・Y軸・Z軸）Gセンサーを内蔵しています。本体の取り付け角度・姿勢を認識させるためにキャリブレーションを行う必要があります。

キャリブレーションが不要な場合

本機の設置状態が以下の場合は、キャリブレーションは不要です。

- 水平に設置されている。
- 本体前面（SDカードスロット、LEDがある面）が車両の進行方向に対して後ろ向きである。



キャリブレーションが必要な場合

本機の設置状態が以下の場合は、キャリブレーションを行う必要があります。

- 水平に設置されていない。
- 水平に設置されているが、本体前面が車両の進行方向に対して後ろ向きでない。

以下の手順に従い、【動的キャリブレーション】を実施してください。

警告

動的キャリブレーションでは、急加速を伴う操作を行います。



- 車両の前方約 30 m に障害物がなく、水平で広い場所を確保してください。
- 動的キャリブレーションを始める前に、周囲に歩行者がいないことを確認してください。
- 動的キャリブレーション実施中は、見張りを立て、車両前方に歩行者が入らないように監視してください。

動的キャリブレーション手順

車両の前方約 30 m に障害物がなく、水平な場所に車両を移動して停止してください。

1. 動的キャリブレーションを開始する

本体の電源投入直後の LED2 橙色点滅中（フロントカメラ点滅中）に、eMMC ボタンを 7 秒以上長押ししてください。

『G センサーのキャリブレーションを開始します。』というガイダンス音声 flowed たら、eMMC ボタンから指を離してください。

『直進できる水平な場所に移動してクルマを停止したあと、eMMC ボタンを押してください。』

というガイダンスが流れたら、eMMC ボタンを短く押してください。

2. Z 軸方向（地上方向）の検知

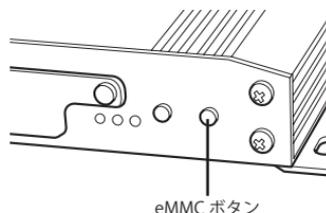
『次の音声鳴るまでクルマを停止させてください。』

というガイダンス音声 flowed たら、約 5 秒間そのまま待つてください。

この間に、Z 軸方向（地上方向）を検知します。

このとき、両手でしっかりとハンドルを握り、車両の前方に何もいないことを確認します。

次の手順に備え、監視者に合図をしてください。



3. Y 軸方向（進行方向）の検知

『この音声が終わった後、クルマを停止状態から加速し、直進してください。』というガイダンスが流れたら、10 秒以内にアクセルを踏み急加速してください。そのまま 10 m 直進で加速を続けたあと、車両を停止させてください。

この間に、Y 軸（進行方向）を検知します。

※MT 車の場合、1 速で発進してください。

Y 軸方向の検知（1 回目）成功：

加速中に『直進できる水平な場所に移動してクルマを停止したあと、eMMC ボタンを押してください。』というガイダンスが流れたら、1 回目の検知は成功です。次のステップに進んでください。

Y 軸方向の検知（1 回目）失敗：

以下の場合、適切な加速度を得られなかったこととなり、1 回目の検知は失敗です。車両を開始位置まで戻して電源を切り、手順 1 からやり直してください。

- 10 m 以上加速走行してもガイダンスが流れない
- ブレーキでの減速中など、加速中以外でガイダンスが流れた
- Y 軸方向の検知開始から 60 秒後に『G センサーのキャリブレーションが失敗しました。』というガイダンスが流れた

4. 開始位置に戻る

Y 軸方向の検知が成功したら、車両を開始位置まで戻して停止してください。

その後、eMMC ボタンを短く押してください。

5. Z 軸方向・Y 軸方向の検知（2 回目）

ガイダンスに従い、もう一度手順 2 から 3 を繰り返してください。

6. キャリブレーション完了

Y 軸方向の検知（2回目）成功：

加速中に『G センサーのキャリブレーションが成功しました。』

というガイダンスが流れたら、キャリブレーションは成功です。電源を切ってください。

Y 軸方向の検知（2回目）失敗：

以下の場合、適切な加速度を得られなかったこととなり、キャリブレーションは失敗です。

車両を開始位置まで戻して電源を切り、手順 1 からやり直してください。

- 10 m 以上加速走行してもガイダンスが流れない
- ブレーキでの減速中など、加速中以外でガイダンスが流れた
- 『G センサーのキャリブレーションが失敗しました。』というガイダンスが流れた

動的キャリブレーションがどうしても成功しない場合、または動的キャリブレーションの実施に必要な安全な場所が確保できない場合は、以下の【静止キャリブレーション】を実施してください。

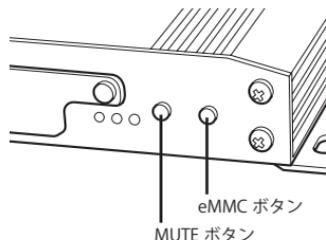
静止キャリブレーション手順

水平な場所に車両を移動して停止してください。

1. 静止キャリブレーションを開始する

本体の電源投入直後のLED2 橙色点滅中（フロントカメラ点滅中）に、MUTE ボタンと eMMC ボタンを同時に7秒以上長押ししてください。

『Gセンサーのキャリブレーションを開始します。』というガイダンス音声流れたら、MUTE ボタンと eMMC ボタンから指を離してください。



2 『水平な場所に移動してクルマを停止したあと、eMMC ボタンを押してください。』というガイダンスが流れたら、eMMC ボタンを短く押してください。

2. Z軸方向（地上方向）の検知

『次の音声が鳴るまでクルマを停止させてください。』

というガイダンス音声流れたら、約5秒間そのまま待ってください。

この間に、Z軸方向（地上方向）を検知します。

3. Z軸方向の検知（2回目）

『水平な場所に移動してクルマを停止したあと、eMMC ボタンを押してください。』

というガイダンスが流れたら、eMMC ボタンを短く押してください。

ガイダンスに従い、もう一度手順2を繰り返してください。

4. キャリブレーション完了

『Gセンサーのキャリブレーションが成功しました。』

というガイダンスが流れたら、キャリブレーションは成功です。電源を切ってください。

※【静止キャリブレーション】のみ実施・成功した状態は、Z軸方向のみ補正完了となり、Y軸方向は補正されていません。そのため本機の取り付け方向によっては、DriveLogViewerのマップおよびGセンサー加速度円グラフに表示される加速度の方向が、実際の車両の動きと一致しない場合があります。

※加速度計測以外の情報への影響はありません。

※本体を取り外したり、取り付け位置を変更した場合は、再度Gセンサーのキャリブレーションが必要になります。

動作テスト

1. 動作テストを開始する

確認用のテスト記録として、短時間の動作テストを行います。ウィンカーとブレーキ操作を行ってください。

※別売オプションのバックカメラを取り付けている場合は、バック操作も行ってください。

2. エンジン进行停止する

全てのLEDが消灯したことを確認し、SDカードを取り出してください。

動作テストデータの確認

1. SD カードを挿入する

取り出した SD カードを、パソコンの SD カードスロットまたは SD カードリーダーに挿入してください。



2. 専用ビューアソフトを起動する

デスクトップの【DriveLog Viewer】アイコンをダブルクリックします。



3. 動作テストデータを開く

📁 をクリックします。SD カードドライブを選択し、[フォルダーの選択] をクリックします。(右図参照)

4. 映像を確認する

動画ファイルリストから任意の動画を選択し、▶ をクリックすると再生が始まります。

以下の項目について確認してください。



① 録画視野、カメラの向き、バックカメラ (オプション使用時) への切り替えは適切か

② 録画音量が適切か

③ ウィンカーとブレーキのインジケータが点灯するか

④ GPS 情報が取得されマップに反映されているか

⑤ G センサー計測情報が反映されているか

※マップを表示させるためには、インターネット接続環境が必要です。



確認が終了したら、SD カードをパソコンから取り出し、本体に挿入します。



～ safety product ～

株式会社 シルバーアイ

シルバーアイカスタマーサポートセンター
〒222-0033

神奈川県横浜市港北区新横浜 2-14-2

KDX 新横浜 214 ビル 5F

TEL:045-548-8952 FAX:045-548-8953

受付：10:00～12:00 13:00～17:00

(土・日・祭日・当社休日を除く)

<http://www.silver-i.co.jp/>